活動情報			
取組項目	生物の生息状況の把握		
組織名	三区町環境保全隊	那須　管内	那須塩原　市

活動目的：田んぼと生き物の関係についての理解を深める

活動内容：田んぼの土手・水田の土壌・田んぼまわりの生き物を調査

農業者 13 名、非農業者 14 名、子供 17 名の参加で田んぼまわりの生きもの調査を実施した。今年も、農業者と親子の組み合わせの「カエル班」、家族ごとに担当する「ウケ班」、完全有機水田の土壌調査を行う「コドラ-ト班」、周辺の昆虫等を調査する「特別調査班」に分け調査開始です。

「カエル班」は、最初はなかなか見分けることができず悪戦苦闘し、トウキョウダルマガエル・ニホンアカガエル・ニホンアマガエルを確認することができました。

「ウケ班」は、前日に仕掛けておいた 4 個のウケを、農家の人に引上げてもらい、ウケの中のドジョウを親子で協力して数えていました。

「コドラ-ト班」は、ＪＡＳ有機水田と合鴨水田から採取した土を流水で綺麗に流し、白いパレット上の残留物に水を混ぜて微細生物の観察です。

子供も大人も無言で真剣に探した結果、イトミミズ・ユスリカが確認されましたが、鴨君が食べてしまったせいか、合鴨水田ではユスリカの確認はできませんでした。

「特別調査班」は、地域在住の虫博士と一緒に、虫アミと虫カゴを持って田んぼまわりの生き物の調査です。

イナゴ・コオロギの幼虫、モンシロチョウ等１４ 種類の生き物を捕獲し、名前の確認をしました。

厳しい暑さのため、野外での活動は１時間ほどで終了、室内では虫博士が準備した「昆虫標本」で地域内に生息する昆虫の勉強をしました。

また、長編ドキュメンタリ-映画「田んぼ」のＤＶＤを観賞し、農村環境の大切さ、水田と生きもののかかわり等も学習しました。最後に参加者の感想を聞きましたが、「家の近所で虫とりをしても、捕った虫の名前がわからず、子供も満足がいかなかったが、虫の取り方や虫の名前を教えてもらい、親子で楽しむことができた、秋の生きもの調査も参加したい」などの感想が述べられました。